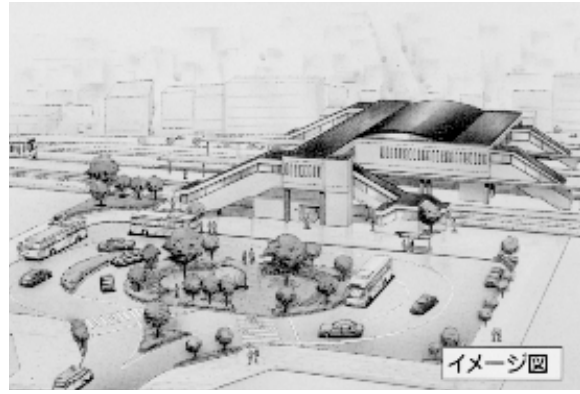


特産品であるのりを製造（のり流通センター）

衰退化が進む農業および漁業の有効な対策を引き続き検討していくとともに、本年度、漁業経営の安定的発展と水産物の供給の増大のため、並型魚礁を設置すること。
商工業活性化の一つとして、将来の情報化を展望して商工業者が一層の事務の合理化などを推進するため、引き続きIT

快適な生活環境と産業が調和する活力あるまち

夜間における歩行者などの防犯上、および歩行の安全確保を一層進めるため、主要幹線などの街灯の照度を高めていくこと。
住民生活の安全・安心のため、治安対策として、現在の交番に代わり、加古川警察署の分署的機能を有するものの設置に努力していくこと。
平成十四年度に、開園予定の石ヶ池公園センター棟内に防災資機材を備えるとともに、町内の各避難地に表示板を設置し、災害時に対応できる整備を進めていくこと。



町の玄関口として整備されるJR土山駅周辺

安全でさわやかな都市環境のまち

まちの拠点として、これまでの懸案であったJR土山駅自由通路及び橋上駅の本年度着工、早期完成を目指すこと。
都市計画道路土山新島線及び同駅前広場の整備については、JR土山駅自由通路及び橋上駅と同時供用に努めていくこと。
住宅地域の中にあり、またJR土山駅前の重要な位置にある日本テルベン化学株式会社土山工場が経営者のご好意もあって移転されることとなっております。その跡地は町に譲っていただく運びとなっており、現在協議中でありまして、これにより、町の玄関口として大いに発展が期待できることとなります。

循環型社会の形成に向けて、環境意識を高め、自然環境に配慮しつつ、産業活動と調和のとれた望ましい都市環境を整えること。
本年四月に町制施行四十周年を迎えますが、この節目の年を迎えるにあたり、これを契機に町政の飛躍発展につながる事業を実施すること。
「播磨ふれあいの家」を拠点とし、播磨町住民と朝来町住民との交流をさらに深める事業を展開すること。併せて、施設運営の改善に努めること。
友好都市や姉妹都市との交流を深め、国際相互理解を進め、町の国際化を推進していくこと。

交流を進めみんなで協働して創るまち

循環型社会の形成のため引き続き住民の協力を得て、ごみの分別と適正処理をより一層進めること。
自然環境の保全と創出を図るため、地球温暖化防止率先実行計画の全体フレームの検討、環境負荷の現状把握、削減目標の設定を行い、環境保全事業をさらに展開していくこと。
「環境基本計画」の着実な推進を図ること。
公共下水道事業については、事業認可区域における污水管の整備を進めるとともに、水質保全、環境改善ならびに経営健全化のため、一層の水洗化普及に努めること。
古宮北土地地区画整理事業については、仮同意の状況を精査しながら早期の組合設立を目指し、権利者の合意形成を図ること。
上水道事業については、第二

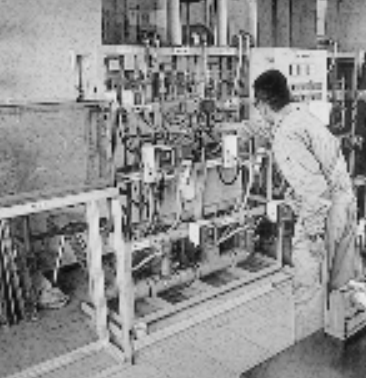


楽しく国際交流

まちづくりへの理解を深め、協働してまちづくりを進めることを目的として、本年度も自治会別行政懇談会や播磨わくわく講座を実施していくこと。
スタンブラーリなどによりふるさと再発見活動を推進し、愛着と誇りを持てるようなまちづくりに努めること。
厳しい社会状況を踏まえ、第三次行政改革大綱に添って積極的な取り組みを行うこととし、簡素で効率的な行政運営を図っていくこと。
さまざまな行政課題に的確に対処するために、事業効果や緊急性について検討を加え、住民サービスの向上を図っていくこと。
自主財源である町税の確保は重要課題であるとともに、税負担の公平性の観点からも滞納整理事務の強化は必要であり、そのために滞納整理システムの導入により、より一層滞納処分・整理を進めていくこと。

優良建築物等整備事業で建設中のビル内の二階にメデイカルフロアーを取得し、ビルの完成と同時に医療機関の開業が可能となるよう努めること。
山陽電鉄播磨町駅北地区整備事業については、これに関連する道路の早期完成を目指すこと。
その四つとして、整備に当たることができる限り環境および経営的側面にも配慮すること。
その三つとして、情報化の時代に即応した住民サービスの拡充すること。
その二つとして、駅利用者の便宜を図ること併せ、産業の振興策としての整備すること。
山陽電鉄播磨町駅北地区整備事業については、これに関連する道路の早期完成を目指すこと。
優良建築物等整備事業で建設中のビル内の二階にメデイカルフロアーを取得し、ビルの完成と同時に医療機関の開業が可能となるよう努めること。
古宮北土地地区画整理事業については、仮同意の状況を精査しながら早期の組合設立を目指し、権利者の合意形成を図ること。
公共下水道事業については、事業認可区域における污水管の整備を進めるとともに、水質保全、環境改善ならびに経営健全化のため、一層の水洗化普及に努めること。
上水道事業については、第二

公園新設事業について、石ヶ池公園は植栽などの残工完了後、年度内に開園すること。（仮称）野添であい公園は、緑化重点地区総合整備事業をもって平成十五年年度完成を目指し、本年度より工事に着手すること。
その他、公園・緑地の有効な活用を図るため、住民参加によるワークショップで提案いただいた向ヶ池公園再整備について実施に向けた計画を策定すること。
河川整備について、喜瀬川では河川改修に併せた懸案の住吉橋の架け替えが本年度に完成することから、橋梁前後の整備を実施す



より安全な「水」を目指して

回変更認可による水源確保及び施設が一応の完成を見えています。近年の景気低迷などにより給水需要は、多くを望めない状況であることから、収益的収支において、収入不足が生じてまいりますので、今後、一層の経費削減に努めるとともに、料金の見直しの検討をしてまいります。なお、現時点では、繰越利益剰余金等を補填し、利用者の負担増はできる限り抑制していくこと。
公園新設事業について、石ヶ池公園は植栽などの残工完了後、年度内に開園すること。（仮称）野添であい公園は、緑化重点地区総合整備事業をもって平成十五年年度完成を目指し、本年度より工事に着手すること。
その他、公園・緑地の有効な活用を図るため、住民参加によるワークショップで提案いただいた向ヶ池公園再整備について実施に向けた計画を策定すること。
河川整備について、喜瀬川では河川改修に併せた懸案の住吉橋の架け替えが本年度に完成することから、橋梁前後の整備を実施す



本年度全面オープン予定の石ヶ池公園

また、平成十三年度より県が着手しておりますJR橋梁の架け替え工事が本格化してきますが、この工事の關係で、本町域全体の完成については数年後の見込みとなるため、ふるさとの川整備事業についても早期の完成を図ること。
水田川については、浜幹線までの現在の工事区間は本年度に完成することになっております。引き続き平成十五年度から上流部に着手されるよう、兵庫県に働きかけるとともに、昨年度にワークショップにより策定した水田川環境整備計画の事業化を検討していくこと。
まちの貴重な資源としての「ため池」の水質浄化について検討し、周辺住民に親しまれる憩いの水辺として改善すること。

予算とその財源

平成十四年度予算総額は、二百二十億七千七百九十九万九千円で対前年度比2.3%増、一般会計では百二十億四千二百九十八万八千円で、対前年度比3.4%増となっております。特別会計では八十五億九千二百九十六万七千円で、対前年度比1%の増、企業会計では十四億四千二百二十四万四千円で、対前年度比1%増となっております。
歳入面は、自主財源の柱であります町税が、対前年度比4.2%減、地方交付税は対前年度比4.6%減となつていく状況にあります。
一方、歳出面では、かねて懸案でありましたJR土山駅及び関連施設の整備や石ヶ池公園（仮称）であい公園の整備のほか、公共下水道事業などを予定しており、国・県の補助及び地方交付税措置のある優位な地方債制度の活用を図つても、なお財源不足が生じております。
これを充足するため、財政調整基金から約十四億七千万円、公共施設整備基金から約十一億二千万円など、基金から約二十六億六千万円の繰り入れを予定いたしております。